

令和2年度 第1回伊那北高等学校評議員懇談会報告

学校評議員運営委員会

- | | | | |
|-----|-----|---|-------------|
| I | 日時 | 令和2年7月21日（火） | 15:30～17:00 |
| II | 会場 | 高志館1階研修室 | |
| III | 出席者 | 〔評議員〕 藤田 浩史（義務教育関係） 大神田淳子（大学関係）
傳田 智子（上伊那広域連合） 米沢 幸次（自治会関係）
気賀澤正門（企業関係） 岩崎 靖（同窓会関係）
椎名千佳子（保護者） | |
| | | 〔職員〕 学校長 教頭 事務長 齋藤（教務） 山崎（進路）
登内（生徒指導） 宮澤（特別支援） 島岡（学校評価・職場代表）
黒岩（CPA） 河合（PTA） | |
| IV | 次第 | （司会：教頭） | |
| | | 1 委嘱状交付 | |
| | | 2 学校長挨拶 | |
| | | 3 本校の概況について | |
| | | (1) 3つの方針（山岡） (2) 学習、進路指導（山崎） | |
| | | (3) 生徒指導（登内） (4) 特別支援教育（宮澤） | |
| | | (5) 学校評価（島岡・山岡） (6) CPA（黒岩） | |
| | | (7) その他（山岡） | |
| | | 3 意見交換 | |
| | | 4 学校長挨拶 | |

1 意見交換会で出された意見等のまとめ

(1) 3つの方針及びグランドデザインについて

- ・PDCAサイクルの導入について具体的な内容を知りたい。

(2) 学校教育全般について

- ・生きる力、コミュニケーション能力、人との接し方の能力を伸ばしてほしい。
- ・海外でのグローバルな交流ができる力を育ててほしい
- ・国際性を育てる視点が乏しい 信大（高大連携）やJICAの協力を得るなど連携を深める。
- ・コロナの影響で教育現場のもろさを実感している。
- ・小学校ではZOOMを利用した家庭訪問が行われた
- ・すべてコロナのせいにして深く物事を考えていない子どもの姿に不安を感じる。現状を把握して、何ができるのかを考えさせてほしい。
- ・今後予測できない事態になったとき、どのような戦略や方策で、生徒の学力保証を考えるのか。

(3) 生徒指導及び基本的な生活習慣について

- ・SHRが1限の後に入っているがその理由はなにか。

(4) 学習・進路指導について

- ・「主体的・対話的で深い学び」は総探だけなのか、教科の授業でも行われているのか。
- ・CPAの教養講座に希望者が少ない理由は何が考えられるのか。
- ・ICTを活用した授業での工夫について知りたい。
- ・生徒全員にiPadを持たせてみる。その分経費の節減を行う必要がある。

- ・リモートによるライブ配信で授業を行っている。パワーポイントは見ただけで終わってしまう。書画カメラを有効活用し板書の要素を盛り込むことも大切である。

(5) 情報発信について

- ・土曜講座の公開が実施できていないようだが、ZOOM等の導入や検討していることがあれば知りたい。
- ・複数の媒体（紙・メール・HP）による情報発信の必要性和保護者・生徒だけでなく地域への発信も必要ではないか。
- ・結果だけでなく、途中経過の情報発信も重要である。
- ・HPでの発信内容と質の再検討が必要ではないか。
- ・多くの情報をスピーディーに発信する
- ・HP自体のリニューアルを検討した方が良い。先生方にお問い合わせすると仕事量が増えてしまうので外注でも良い。費用は同窓会が負担を考える。

2 今後に向けて

- (1) 学校の様々な教育活動及び生徒の様子に関しては、一定の評価をしていただいたが、1に記載したように、改善・充実・向上を期待するご意見も数多く寄せていただいた。
- (2) 指摘を受けた「地元や地域との連携」、「予測できない事態への対応」、「ICTを活用した学習指導法」「情報発信についての要望」等について、校内全職員で共有するとともに、担当係等を中心に議論を深め対応等について検討・確認をしていく。
- (3) 第2回は、1月30日（土）予定であるが、指摘を受けた事項に対しての取組状況をプラス的内容で回答できるよう先生方にご協力いただきたい。